

**基本英作文 601**    クラス    氏名    190515

次の日本語を英文に直しなさい。

1 子供の頃、もう少し家が広げればとよく思ったものでした。

2 洪水や地震などの被災者を手助けするボランティアとして活動したい。

## 基本英作文 601 解答例 190515

「ドラゴン・イングリッシュ」(竹岡広信著)の問題 39,40 からの引用です。

- 1 子供の頃、もう少し家が広ければとよく思ったものでした。

**When I was a child, I often wished my house were a little larger.**

- (1) 現実でないことを空想した状況なので、<wish+仮定法>を使います。

- (2) 「子供の頃」という過去に、その時点で非現実であったことにあこがれたわけですので <wished+仮定法過去>になります。もし、過去の時点で、それ以前のことに反する願望を言った場合には、<wished+仮定法過去完了>です。

I wished she told me the truth. (彼女が本当のことを言ってくれればと思った)

←「wish の時点」と「彼女が本当のことを言っていない時点」は同時

I wished she had told me the truth. (彼女が本当のことを言ってくれたら良かったのと思った)

←「wish の時点」より「彼女が本当のことを言わなかった時点」の方が時間的に前

- (3) ここの「広い」は、もちろん「面積が広い」の意味なので larger/bigger。

- (4) wish の後では接続詞 that は省略するのが普通。

- 2 洪水や地震などの被災者を手助けするボランティアとして活動したい。

**I'd like to work as a volunteer helping victims of natural disasters, such as floods or earthquakes.**

- (1) 「ボランティア」は「ボランティアする人」の意味で a volunteer。「ボランティア活動」の意味ならば volunteer activities。

- (2) 「活動したい」は、「現地で汗を流して働きたい」の意味なので work。「社会に影響を及ぼす活動をする」の意味の場合は be active を使います。

e.g.) He is active in welfare work. (福祉活動に積極的に参加している)

- (3) 「手助けするボランティア」は、a volunteer who helps victims ともできますが、分詞で済ませられるところは関係代名詞をむやみに使わない方が、①簡潔で、②大げさな感じがしない、というメリットがあります。

基本英作文 602    クラス    氏名    200302

次の日本語を英文に直しなさい。

早朝、鳥のさえずりを聴きながら散歩するのは本当に気持ちがいい。

## 基本英作文 602 解答例 200302

最初の4回は、「ドラゴン・イングリッシュ」（竹岡広信）からの問題です。

早朝、鳥のさえずりを聴きながら散歩するのは本当に気持ちがいい。

(a) It is really pleasant/enjoyable to [go for a walk]/[take a walk] early in the morning, (while) listening to birds sing/singing .

(b) It makes me/us/you feel really/so good/relaxed to take a walk while listening to birds sing/singing in the early morning.

(1) Taking for a walk を主語にすることもできますが、主語が長くなるので、it を主語にする方が良いでしょう。

(2) really は「とても」「実に」と程度の高いことを表す語で、日本語の「本当に」と関連づけて覚えると覚えやすいでしょう。「とても」の意味の強調語として very しか出てこない人がいますが、類義語をいくつか持っておくと表現の幅が広がります。  
くだけた口語体では、強調に so を単独に使うこともよくあります。

(3) 散歩するは、take a walk/ go for a walk が一般的です。walk は、「歩く」ですが、  
I walked ten kilometers on Sunday. (Good)  
I walk to work every morning. (Good)  
のような使い方が一般的です。

(4) pleasant は、物や事柄について使い、人には使いません。

e.g. We had a pleasant evening.

e.g. It is pleasant to work in this room.

e.g. (×) I feel pleasant to take a walk ~.

(5) 「気持ちがいい」○relaxing / refreshing △comfortable は環境や家具に使う表現です。  
×I feel great は「最高の気分を感じる」イメージなので、この場合は不自然。

(6) listen to birds sing/singing は、「知覚動詞+目的語+do/doing」のパターンです。

主な知覚動詞：feel, listen to, look at, notice, observe, see, watch

listen to birds sing：鳥がさえずるのを一部始終聞く

listen to birds singing: 鳥がさえずるのを（一部）聞く

(×) *hearing birds sing* は不可です。hear は「～が耳に入る」という消極的な意味のため、分詞構文では「物音などが聞こえて」という意味になります。

e.g. She tensed, hearing the strange noise again.

これに対し、listen は「意識して聞く」がコアの意味で、「～しながら」の意味に使われます。

e.g. He's upstairs listening to music.

(7) 「特定の鳥が鳴いているのを聴く」ではないので、birds と the なしの複数形になります。

**基本英作文 603**    クラス    氏名    190911

次の日本語を英文に直しなさい。

ほとんどの日本人は、エレベーターや信号待ちだと、わずか 30 秒でいらいらし始める。

## 基本英作文 603 解答例 190911

最初の4回は、「ドラゴン・イングリッシュ」からの問題です。

ほとんどの日本人は、エレベーターや信号待ちだと、わずか30秒でいららし始める。

- (a) When/While waiting for an/the elevator to come or a/the traffic light to change, most Japanese people become/get irritated in only thirty seconds.
- (b) Most Japanese people become irritated in only thirty seconds when/while they are waiting for an/the elevator to come or a/the traffic light to turn green.

(1) elevator (アメリカ英語) の代わりに lift (イギリス英語) でもOK

(2) 信号は、traffic light が一般的ですが、traffic signal ともいいます。

(3) エレベーターは、the elevator でも、an elevator でもどちらでもかまいませんが、選んだ冠詞に合わせて the/a traffic light と同じ冠詞で統一しましょう。

初めて出てくる不特定の可算名詞は、a/an をつけるのが原則ですが、日常生活で良く使われる名詞については、不特定であっても、I always read when I'm on the bus.

I hate going to the doctor. のように名詞に the をつけることがよくあります。

“the+単数名詞” で「名詞というもの」を表すことがあるのと似ています。

(4) When waiting for the elevator to come のところ、wait for the elevator のみでも通じますが、wait for the elevator to be fixed のような可能性もなくはないので、「エレベーターが来るのを待つ」とした方が意味がよりはっきりします。for the elevator は to come の意味上の主語です。

(5) waiting for the traffic light はこれだけでは意味が曖昧なので (例えば waiting for the traffic light to be installed などもあり得る)、to change を後置すべきです。

(6) and, or は、等位接続詞なので、対比するものは、同じパターンに揃えないといけません。

(7) 「ほとんどの日本人」は most Japanese people が一般的 ○most Japanese でもOK

(8) ○almost all Japanese people almost all the Japanese people でもOKですが、the があると限定されたグループのイメージになりますので、ここは the がない方がよい。

×almost Japanese people なお、all > almost all > most の順に数が多い。

(9) 信号待ち」 待っている ので進行形 they are waiting にする。they wait は不適切。

(10) 「30秒で」 前置詞は in 「～で、～たって」、for 「～の間」は×

(11) 「いららし始める」 ○impatient / annoyed も可。start/begin to~、start/begin ~ing をいれてもOK。

基本英作文 604    クラス    氏名    190911

次の日本語を英文に直しなさい。

いつ結婚するか、子供を産むか産まないかは、各人の自由な判断によるべきだ。

## 基本英作文 604 解答例 190911

最初の4回は、「ドラゴン・イングリッシュ」(竹岡 広信)からの問題です。

いつ結婚するか、子供を産むか産まないかは、各人の自由な判断によるべきだ。

- (a) Everyone should be free to decide when they will marry/[get married] and whether they will have children (or not).
- (b) Everybody should have the right to decide (freely) when they will marry/[get married] and whether they will have children.
- (c) Everyone should be free to decide when to marry/[get married] and whether to have children (or not).
- (d) When to marry and whether to have children should be left (up) to [each person's]/[a person's]/[an individual's] [free choice]/[preference]
- (e) You should decide freely/[on your own] when you will/[are going to] marry and whether you will/[are going to] have children.

- (1) and/or で対になる語句は、節と節、不定詞句と不定詞句など、同じ形の語句であるのが原則です。
- (2) (a)~(c) の decide は、choose でも OK です。free と decision は組み合わせとして不自然なため、(d) の free choice を free decision にするのは不可  
free choice の代わりに、discretion(自由裁量)は OK。
- (3) everyone を受ける代名詞は、he or she となるべきですが、現代英語では、しばしば、they で受けます。
- (4) 子供が複数いることは、十分あり得ることなので a child より、children が適切です。  
The couple has no children. (その夫婦には子供はいない)  
have babies でもよいですが、原文が、「赤ちゃんを産むかどうか」ではないので、have children が適切です。bear は、産むという意味ですが、現代英語では、動物が主語の場合か、受動態でしか使われません。
- (5) (d) の「~によるべきだ」は、次の様にも訳せます。  
should be left (up) to ~ / should be up to ~ / should depend on ~
- (6) (d) で、When to marry and whether to have children should be left to each person. とすれば、原文の「判断」は訳出されませんが、簡潔で分かりやすい英文になります。
- (7) 一般を表す you を用いて(e)の様に表すこともできます。  
It should depend on each person's choice when ~,  
It should be the free choice of each person when ~とすることもできます。